

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

### 事業名【新】防災資機材等整備事業費（令和6年能登半島地震）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災企画係 電話番号：058-272-1111(内2839)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 90,626 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	90,626	0	0	0	0	0	0	0	90,626
決定額	90,626	0	0	0	0	0	0	0	90,626

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・令和6年能登半島地震の被災地では、被災者・支援者ともにライフラインの途絶による入浴や排泄など困難に陥り、衛生環境の維持に課題が生じた。また、孤立地域が発生し避難や支援にあたって支障が生じた。
- ・本県が令和6年能登半島地震の被災地へ支援するにあたっては、現地に向かう職員及び物資の輸送体制に課題が生じた。

### (2) 事業内容

- ・被災時のライフライン途絶や孤立地域の発生に備え、必要となる資機材を備蓄する。  
 <主な品目>
  - ・循環式携行型シャワールーム×5式
  - ・移動式トイレ×1式
  - ・孤立地域の発生に備えた資機材
- ・災害発生時に支援職員の派遣や物資の輸送を機動的に行うため、積載力のある四輪駆動車1台を整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内の被災を抑えるための人材育成であり、県の負担が妥当

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	25,138	孤立地域用備蓄
備品購入費	61,345	循環携行型シャワールーム他
備品購入費	3,799	車両購入経費
その他	344	公課費等
合計	90,626	

**決定額の考え方**

--

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

本県での大規模な災害の発生に備え、早急に備蓄資機材や支援の輸送手段を整備する必要がある。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

大規模な災害の発生に備え早急に整備を行うものであり、指標の設定に馴染まない

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	県内での大規模な災害の発生に備えるものであり、事業の必要性は増加している。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	令和6年能登半島地震での教訓を踏まえ実施するものであり、有効である。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	令和6年能登半島地震での教訓を踏まえ実施するものであり、効率的に進めることができる。

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 令和6年能登半島地震での教訓を踏まえ、今日は我が身の考え方に立ち、早急に災害対策を進める必要がある。
----------------------------------------------------------------------------

### (次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内での大規模な災害の発生に備え、継続して必要となる資機材の検討を進める必要がある。
-----------------------------------------------------------------------------------------------

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	